

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月26日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山江村役場	代表者名	0966-23-3111
担当者部署	企画調整課	連絡先電話番号	0966-23-3112
担当者役職	課長	担当者氏名	平山辰也
住所	868-0092 熊本県山江村大字山田甲		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三谷 泰浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	目指そうとする目的事業に対し、実際現場に携わって支援いただくことが確認できた。
アドバイザーへの要望事項	事業計画、実施、運用、改善まで現場で携わっていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月24日	13時00分	15時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	山江村一円	最寄駅	人吉駅(現在利用不可)	
	所在地	山江村	最寄駅からの交通手段	タクシー	
	派遣形態	フォローアップ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	山江村役場職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和2年7月の豪雨災害で通信網等が遮断されたことに伴い、被災者の安否確認に時間を要したため、災害に強いむらづくり、住みよい村づくりを構築するシステムの導入が必要であるが、導入の仕組み、方法の知識に乏しい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地域住民の安全で安心な暮らし、及び地域住民の防災に対する迅速な対応を意識づけ住みやすい山江村を構築する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	GIS機能を活用し、被災の状況を全村民が場所、写真等で確認でき、即身を守る行動に実行できるようなシステムを先ずは構築し、徐々に必要なシステムを取り入れたほうがよい。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	特に今回改善、解決された事項はないが、アドバイザーについては本村の現場を知っていただき、今後の事業推進のための支援をいただくこととなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	GISを活用した具体的なシステムの操作、デモを行っていただき、山江村に適したGISを導入することが確認できた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業の打合せ、今後の方向性を協議したため、アンケートは不要であったため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

